

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 令和3年度 第4回
開催日時	令和3年10月26日（火曜日） 午後6時15分から7時40分まで
開催場所	田無庁舎 502 会議室
出席者	出席：小澤委員長、安田副委員長、苅草委員、喜多野委員、小林委員、小松委員、笹川委員、篠宮委員、鈴木委員、平委員、中村委員、堀内委員、山辺委員 欠席：井上委員、山田委員 事務局：白井課長、福田係長、藤野主査
議題	(1) 令和3年第3回男女平等参画推進委員会会議録の承認について (2) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画の令和2年度実績評価について (3) 男女平等参画に関する市民意識・実態調査について (4) 表現における男女平等ガイドライン事例集の更新について (5) その他
会議資料の名称	【配布資料】 (1) 令和3年度第3回西東京市男女平等参画推進委員会会議録（案） (2) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画事業実績評価報告（令和2年度） (3) 「これからの課題」（案） (4) 西東京市民意識調査（抜粋） (5) 表現における男女平等ガイドライン事例集
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
【開会】 ○委員長：これより第4回男女平等参画推進委員会を開催する。 事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告をした。	

続いて事務局より配布資料の確認をした。

(1) 令第3回男女平等参画推進委員会会議録(案)の承認について

委員から自身の発言について2か所修正の申し出あり。その他異議なく承認された。

(2) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画の令和2年度実績評価について

○委員長：議題(2)について、事務局から説明をお願いしたい。

○事務局：(資料2について説明)

評価についてはほぼ確定しているが、1ページ目の「はじめに」と、14ページまでの評価割合を掲載した。135ページ「これからの課題」については本日最終確認とご意見をいただきたい。136ページの指標についても、数字の確定したものについては記載した。

各課事業評価報告では、No.134の執行状況・事業評価欄について再度担当課に確認した結果、記載内容の修正依頼があった。取り組みを進められない状況にあるということを平委員にお伝えし、C評価に変更していただいた。ご承認をいただきたい。

重点課題別評価については何箇所か誤字等の修正をさせていただいた。

○委員長：「はじめに」の文章が「記載されたい」と、担当課に向けて書いているような記述になっている。

○事務局：記述について見直して、改めてお知らせする。

○委員長：報告書の全般的な確認について、期日を決めていただきたい。

○事務局：11月10日(水)までに事務局にご連絡ください。

「これからの課題」については本日ご確認いただきたい。

○委員：3行目「非正規雇用者数が減少した時期」というのは具体的にはいつのことか。

○事務局：令和2年度のコロナ禍の状況について述べている。自殺者が増えた時期と非正規雇用者数が減少した時期に相関性が認められるということを行っている。

○副委員長：非正規雇用者が職を失った時期と重なったということはあると思うが、ステイホームで家にいなければならなくなった女性たちの自殺率も上がっているので、「非正規雇用労働者の減少があり、自殺者の増加など女性への深刻な影響が明らかになった」くらいにとどめておいたほうが、不正確にならないのではないか。

○委員：非正規雇用者数の減少や、働き方の急激な変化など、他にも要因があるとしたほうが良いと思う。

○委員長：「オリンピック・パラリンピックに関連した発言から日本の男女平等の現状が注目された」という一文の趣旨は。

○事務局：発言をきっかけに、日本のジェンダーギャップ指数など、国際社会の中で日本の男女平等が遅れていることが周知された、ということである。

○委員：「ジェンダーギャップ指数など」と入れないと通じにくいのではないか。

○事務局：修正させていただき、修正案を皆様に送らせていただく。

今後のスケジュールとしては、確定した評価を各課に送付し、意見を受け付ける。意見があった場合は各課と調整し、内容によっては委員にご相談、ご報告させていただく。

それらを経て評価報告書を完成させ、委員にお送りする。最終的に委員会から市長へ報告していただくが、どのような形で報告するか、従来のような手渡しとするのか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ながら考えたい。

(3) 男女平等参画に関する市民意識・実態調査について

○事務局：来年度から次期計画の策定が始まる。令和4年度に市民意識調査、令和5年度に第5次男女平等参画推進計画を策定し、令和6年度からスタートとなるが、庁内的には上位計画である総合計画の次期計画が令和6年度から始まり、それに合わせて各計画の策定が始まる。これまで各計画の始期がバラバラだったが、今回初めて時期が揃う。総合計画の市民意識調査が11月1日に発送されるが、各計画で実施する市民調査と調査内容が重複しないようにする必要がある。男女平等に関する設問を見る限り、重複することはないと思われるが、皆様にも認識しておいていただきたい。また調査項目数について、総合計画は今回17問、男女平等参画の調査は前回は34項目とかなり多くなっている。回収率にも影響するので、できれば前々回(28問)程度にとどめ、回答しやすいボリュームにしていきたい。設問については、回答の経年変化を追っているものや指標になる設問は残しつつ、設問の見直しをしていただく流れになると思う。

調査の時期は9月から10月頃を予定している。7月に委員の改選もあり、変わられる方もいらっしゃると思うが、評価と同時に進めていくので、来年度は前半が忙しくなるが、ご協力をお願いしたい。

○委員：総合計画の調査では性別が男女しかないが、企業の調査でもそれ以外を選べるようにしている欄がある。世帯構成についてもひとり親世帯はどこにチェックするのかわかりづらい。

○事務局：性別欄については他課から問い合わせもいただいているので、配慮されている調査もあると思う。

○委員：記述式よりも選択式の方が回答しやすい。

○委員：シングルマザー、シングルファザーなど、世帯構成によって回答が異なると思うので、聞いておいた方がよいと思う。

○委員：アンケートのデジタル化はしないのか。回答するのも回収も楽だと思う。恐らく高齢の方など対応できない方もいるからだと思うが、若い人ほど書くよりもネットのほうが回答しやすいと思う。

○委員：無作為抽出とのことだが、同じ人に重複しないように、複数の調査をまとめて行うことは考えていないのか。調整は大変だと思うが、全庁的に検討されてはいかがか。

○委員：来年度実施する男女平等参画の調査では、アンケートフォームを併用した方が回収率

は上がると思う。

- 事務局：現状では Web 調査だけではできないので紙の調査と併用することになるが、紙だけよりも費用はかかるようだ。予算要求はしてみる。
- 委員：Web 調査は集計の手間がかからない。
- 委員：個人情報の漏洩には注意が必要だ。
- 委員：表現における男女平等ガイドラインがあるとのことだが、各課に周知してアンケートにも活用してもらえば、性別欄など市全体として統一が取れると思うので、調整を図っていただきたい。
- 委員：性別欄は首脳部会議に諮って統一すればよいのではないか。
- 委員：無作為抽出でアンケートを行うのであれば、基本的な聞き方は統一したほうが良いと思う。

(4) 表現における男女平等ガイドライン事例集の更新について

- 事務局：5年前に当委員会でご協議いただき、事例集を作成した。事例は随時追加することとなっているので、今回見直しを行い、改めて各課に周知したい。
11月10日までにご意見をいただきたい。

(5) その他

- 事務局：次回は1月25日（火）、本日と同時刻、同じ場所にて開催予定である。次回の議題ですが、次期計画策定を前に勉強会を、委員に講師をお願いして実施したいと思っている。その他前回いただいた評価の課題について、まとめてお話ししたい。
- 委員長：本日はこれにて散会する。お疲れさまでした。

【閉会】